



謹賀新年

皆様におかれましては、お健やかに新春をお迎えのことと存じます。旧年中は一方ならぬ御高配にあずかり誠にありがとうございました。今年も何卒ご指導、ご鞭撻の程よりしくお願いいたします。皆様に益々のご繁栄を心よりお祈り申し上げます。

平成二十三年元旦

あけまして、おめでとうございます。

今年は、皆様にとって、どんな年になるのでしょうか

また、どんな年となっていたいのでしょうか…

皆様は、会社として、あるいは個人として、いろいろな「夢」や「希望」をお持ちであると思います。正に、その「夢」の実現のために、新しい年を希望の年にしたいですね

例年、年末から年始にかけて、いろいろな経済誌で、新しい年がどのようになるのか、特集が組まれています。これから将来のことを考えていくには、良い材料になります。たとえば、以下のようなタイトルです。

〈週刊エコノミスト〉12/28・1/4合併号「世界経済2011大崩壊」
「世界経済は今、危機のマグマがどんどん溜まっている。欧州のソブリンリスク、米国の量的緩和第2段(QE2)の副作用、インフレが加速する中国や新興国…などだ。2008年のリーマンショックから世界経済が抱える問題の本質は何一つ変わっていない。再び危機の大爆発が起きる可能性は高い。」

「世界経済は、米国・欧州・中国の3極に存在するリスクに脅かされている。中でも差し迫っているのが欧州のソブリン信用不安だ。」
…「危機の連鎖が続く」との見方を多方面から分析しています。

〈週刊ダイヤモンド〉12/25・1/1合併特大号

「開国か鎖国か 2011 総予測」

「…鳩山由紀夫首相を辞任に追いやった米軍普天間基地の移設問題、尖閣諸島をめぐる中国との衝突や、韓国・ロシアとの領土問題など、日本が極東の島国であることを思い知らさせる出来事が多かった。経済においても、夏場以降の円高局面では孤立無援に陥るなど、グローバル経済・外交面で日本は遅れをとっている。」

…ここでも、TPP(環太平洋経済連携協定)などグローバル経済の変化と外交面での対応について、大きく紙面を割いて議論されています。

いずれに致しましても、日本のベンチャー企業や中小企業を取り巻く環境は、とても大きな時代の変化の中にあり、その企業や事業の存在意義が問われていることは間違いなさそうです。

数年前となりますが、ある方から、「企業成長の鍵」として、こんな話をさせていただきました。

- 「経営」とは、「成長」の仮説である。
- 「成長」のためには、
 1. 成長する市場と
 2. 自社が成長できる顧客と
 3. 長期的に付き合える能力を備えることである。
- 「成長する市場」を見つけるには、
 1. 自社の提供価値は市場に届いているのか
 2. 提供する価値を変える、さらに磨く、捨てる
 3. 対象とする顧客層を変える、増やす、捨てる

新しい年のスタートに、これらのことを改めて見つめ直してみるのも良いかもしれません…

さて、昨年SICでは、入居企業の皆様が安心して創造的な企業活動が出来る施設を目指し、6月に共用スペースのリニューアルを、12月にSIC-1の大規模修繕を実施いたしました。また、「さがみはら表面技術研究所」「ヘルスサイコロジ研究所」、さらに、「SICビステーション Desk10」を7月にOPEN。SICにとっての新しい市場へチャンレンジいたしました。これらの活動の中で、SICに関係いただける方のネットワークが増加し、新しい「場」の創造が出来る予感がしております。

そして、今年度のSICですが、前述の大きな時代の変化の中にあるという認識を踏まえ、この環境に対応するための施策を計画しています。

特に、SIC-3の建設は、今年度の大きな事業です。「ものづくり成長産業支援施設」としての位置づけで、現在地ではできない試作・量産化などの事業化支援に加えて、技術交流、共同開発などのサービスを行う計画です。

私たちSICは、企業理念である「総合的なインキュベーション活動を通じて、地域経済の発展に貢献します。」を実現するために、多様な事業に取り組み、今まで以上に継続的な努力をしていく所存であります。

今後とも、皆様のご指導とご協力をお願いいたします。新しい年が皆様方の幸多い年となりますよう祈念申し上げます、新年のご挨拶といたします。どうか、本年もよろしく願いたします。

株式会社さがみはら産業創造センター
代表取締役社長 中嶋 隆



2011年は辛卯(かのとう・しんぼう)。六十干支の28番目。

卯年の年男・年女は、1927年(昭和2年)、1939年(昭和14年)、1951年(昭和26年)、1963年(昭和38年)、1975年(昭和50年)、1987年(昭和62年)、1999年(平成11年)生まれの皆さんです(※誕生日が元旦から節分までの人は前年の干支とされています)。



入居企業トピックス

●今月の掲載記事紹介

12月の新聞紙上に掲載された企業をご紹介します。ご紹介する記事は、SIC-1と2に掲示していますので、どうぞご覧ください。

- 12月 1日 (水) **株式会社オプトデザイン**
相模経済新聞 LED 均一拡散フラッタが脚光
- 12月 1日 (水) **株式会社ボード・プランニング**
相模経済新聞 「クライアントの意思を形に。」
- 12月10日 (金) **株式会社グローバルヘルツ**
相模経済新聞 「医療用技術を健康・美容分野に応用。市場は全世界」
- 12月10日 (金) **株式会社 共立**
相模経済新聞 福原 有美重さん「はつらつショット」に登場!
- 12月20日 (月) **株式会社青電舎**
神奈川新聞 「クリック感が伝わるタッチパネル!」ビジネスウォッチで紹介されました。
- 12月26日 (日) **Desk10 齋藤 優美さん**
神奈川新聞 キモノを世界に「日本の美で新ビジネス」

入居企業の皆様へご案内

1月のSIC販売予定日

くるまかふえ **Sky Days** ベーグルショップ **米来**
<http://skydays.net> <http://www.bgr-shop.jp/>



14日 (金) **11日 (火)**
21日 (金) **18日 (火)**
26日 (水) **25日 (火)**



営業時間 11:00 ~ 16:00
 パン・飲み物ともなくなり次第終了です。

第30回 浅草 JAZZ コンテスト

グランプリ受賞 おめでとうございます!

皆さん、小林さんご夫婦の演奏と歌で楽しく過ごしたあの夏祭りを覚えていますか。小林さんのとてもムードのある歌に酔いしれていた事を。有限会社サーフクリーン小林さんの奥様の**小林ゆうこ**さんが、第30回浅草 JAZZ コンテストでボーカル部門グランプリに輝きました。おめでとうございます。



「かわらばん」では、入居企業の皆さんやご家族の方々のトピックスもご紹介してまいります。「～大会に～代表として出場」「～マラソン大会に出場して完走!」「～街道を踏破!」「～の48カ所巡りをして来ました。」「～会社の～さんが結婚しました。」などなど自薦他薦を問いません。どんどん情報を御寄せ下さい。

第3回 The HINT (見にミニセミナー・経営総合相談会)

新分野進出へのヒントとなるミニセミナーと身近な個別相談として、公的支援機関を一同に集め経営総合相談会を実施します。
平成23年 1月26日 (水) 13:00 ~ SIC-2 会議室にて
 詳しくは SIC ホームページをご覧ください。

2011年1月

【今月の経営スケジュール (3月期決算の会社参考)】

経理：12月源泉税・地方税納付、扶養控除等申告書提出、給与計算・試算表作成
 税務：償却資産税申告、合計票提出、給与支払報告書提出

日	月	火	水	木	金	土
26	27	28	29	30	31	1 元旦
		SIC 年末年始のお休み (12月29日~1月3日)				
2	3	4 会議室3月分 予約受付開始 SIC-1 自動ドア保守点検	5	6 *SIC-1 エレベーター点検	7	8
9	10 成人の日	11	12 SIC-2 空気環境測定	13 SIC-1 専用部ガラス清掃	14 SIC-2 ガラス清掃	15 経営塾 SIC-1 床面定期清掃
16	17	18	19 協創マッチング フォーラム ヘルスサイコロジー 研究所オープニング セミナー	20	21	22
23	24	25	26 見にミニセミナー 経営総合相談会	27	28	29
30	31					

* エレベーター点検 SIC-1 10:00~11:00の間はご利用になれません。 お問い合わせは 生井 (内線1116) まで

SICが今年度サービスを開始した“Desk⑩”が、今、熱気に溢れています。

これまでSICではものづくりや研究開発型のベンチャー企業の方々のご利用が中心でしたが、Desk⑩は小規模事業者、いわゆる“スモールビジネス・プレイヤー”の新たなオフィス環境への社会的ニーズや気運の高まりから開始したサービスです。

本サービスのコンセプトは「インキュベーション型レンタルオフィス」。7月1日にオープンして早6ヶ月、現在は10名の会員の方々にご利用いただいています。（別表：平成22年12月17日付会員リスト）

異なる業種・業態の事業を展開する方々が同じ空間をシェアするDesk⑩では、日常の業務の中で常にフェイス・トゥ・フェイスの異業種交流が行われています。例えば、「〇〇というサービスの市場ニーズは？」というテーマで居合わせた会員同士でブレーン・ストーミングを行ったり、事業計画書の書き方

を話し合ったりと、場所だけではなく知恵や経験もシェアされています。事業に対して皆さんが貪欲で、かつそれぞれに刺激を受け合っているという、そんな活気に満ちた場になりつつあります。

また、仕事以外での交流も実施されており、12月10日にはSICのロビーで交流会も開催されました。これは会員の方からの提案をきっかけに行われましたが、当日は入居企業様他、関連団体やその他の関係者の方々の参加もあり、大変盛り上がりしました。

Desk⑩の会員の皆様からは「SICの入居企業の方ともしっかりと交流したい」というご要望が多く、SICとしても今後何かしらの形で実施していく予定です。随時関連情報の提供も行いますので、「今、何かを持ってるDesk⑩」にご注目下さい！

会員名	社名・屋号	事業内容
村上 稔	株式会社ファンメディア	・コミュニティサイト製作 他
齋藤 優見	Kimono World Life	・普段着物普及活動、関連イベント企画 他
伊東 健太郎	ロジカルデザイン	・Web製作 他
石塚 明雄	エイエス商会	・建築用金属工事企画提案 他
齋藤 秋彦		・3次元コンピュータグラフィックス 他
小松 信彦	ナインアール株式会社	・各種看板、金物類の製作・施工 他
岩田 満	株式会社 QRS	・発電システム運転監視サービスの開発、販売
松波 賢	株式会社ブルーベリー・メディア・プロダクション	・映像コンテンツ制作、各種写真撮影 他
西田 泉		・禁煙カウンセリングサービス
落合 正一	マドリヤアーキテクツ一級建築士事務所	・住宅の設計・監理

※会員番号順・敬称略

わたしの居場所

どんな人ですか？ SIC スタッフ編

今月のスタッフ【インキュベーションマネージャー 上野 泰和】

私は、人ごみがとてもとても苦手です。そのため、差し迫ったことがない限り人ごみのある街中に出かけることはまずありません。

自然の中にいるのが一番です。仕事を離れ、家を離れ、ある意味非現実の世界に逃避し、芝生の上でごろごろしたり、ポーツと空を眺めたり、山の中を散策したり、といったことが大好きです。まさに至福の時です。本当は、一人で行きたいところですが、家族に一揆を起されると怖いので、みんなで行くようにしています。

普段は近場の“寺家ふるさと村”“七沢森林公園”“弘法山公園”“小田原こどもの森公園”“くりはま花の国”“富士山（裾野）周辺”によく出かけます。人出は割りと多いのですが、広大な敷地のおかげで、人にまみれることはまずありません。

また、さらなる非現実の世界を求め、年に2～3回は旅行にでかけます。実家に帰省するのも含めると（福井市。往復で1,000kmを越えます。）、年に4～5回は旅にでています。これまでに、立山黒部、蓼科、八ヶ岳、寸又峡、霊山（りょうぜん）、白河、猪苗代、水上、軽井沢、尾瀬、ひるがの

高原などに行ってきました。同じ場所に何度も行くことは少なく、常に新しい自然を求めネットサーフィンしています。

来年は、子供も小学生になるので、厳冬の自然を満喫することを目論んでいます。スノーシューや雪の上でごろごろしたいですね～。妄想するだけで、ワクワクしてきます。



↑寸又峡の吊り橋と娘

（次回は、スタッフの相場 美恵子です。）

企業をサポートし隊!!

【シリーズ企画 企業支援の現場から・・・アドバイザー編】

第3回 「中国経済の凄さ」

■副収入

所変われば品変わるとよく言います。日中間でも似ている所あれば、違っている所もあります。中国ビジネスで言われる所では、中国現地の贈答などでしょうか。なかなか実態が掴めないのがこの部分です。日本でも「盆暮れの付け届け」、などというものがありますが、中国では現金などが多いと聞きます。

中国で現金も含めた交際接待は GDP の 1 割を占めるという話もあります。現地中国人が実際に貰っている給与では買えないであろうマンションなどを購入したりするのも、こうした副収入がある事からかも知れません。



■中国会計

一般に中国税務ではインボイス主義ですので、公の領収書が無いと支払証明ができません。現金の贈呈は、会計上非常に難しくなっています。(中国の用途不明金は、企業業種や規模にもよりますが、売上の 0.5%程度まで認められていますので、日本よりは楽かも知れませんが。)

ではどのようにして中国企業が現金を捻出するのでしょうか。社員に領収書を集めさせるのは序の口で、公の領収書販売を生業とする人もいます。また極め付けは、現金捻出を担当するトンネル企業もあることでしょうか。これらにより、企業は費用として会計処理をして現金が捻出できるという訳です。

■腕の良い経理

腕の良い中国の経理・会計担当者といわれるのは、

- ①支払を遅らせる事。
- ②税金を少なくする事。

とされています。

①に関しては、中国で有名現地大手企業との取引で事情が分からないまま契約すると、年単位での支払遅延が発生したりするので有名ですが、②の税金を少なくする事には、大半の現地中国企業が行っている事があります。それは、二重帳簿です。私も以前中国企業のM&Aを担当した事がありましたが、提出された帳簿を見ると信じられないぐらいの高収益企業で驚きましたが、内部調査(デューデリジェンス)を行うとさほどでもない、ということがありました。それは企業が税務署向け帳簿(外帳)と内部向け帳簿(内帳)を持っていたからでした。

■中国税収

このあたりは中国企業の凄さというか、懐の深い所かも知れませんが、しかし中国企業がこのような税金対策(?)を行っているのに、2010年予想では中国国家税収は8兆元(約105兆円)を超える見込みとのこと。実に日本の2.8倍の税収です。現在一部の沿海部が経済的に栄えていてこの規模というのは、中国経済の怖さとも言えそうです。

SICアドバイザー 早野 寿一



山本のめし屋レポート

JR 相模原駅南口徒歩3分にある焼肉屋さんを紹介します。
私が若い頃に通っていた焼肉明月。
本当に久しぶりに行ってきました。
ホルモン、ミノから始まりカルビ、レバー、豚カルビ、
野菜焼き、カクテキ、キムチ、最後はクッパとわかめスープ。
昔を思い出して若い知人2人とガツガツ食ってきました。
やっぱり、一押しはホルモンとミノですかね。
小上がりにテーブル4つとカウンター5席。
昔からある焼肉屋のスタイルを貫く小さなお店です。

焼肉「明月」めいげつ



■住所 〒252-0231 相模原市中央区相模原 2-2-6 ■Tel.042-755-1961 ■営業時間 PM6:00 ~ PM10:30 ■定休日:月曜日

編集後記

あけましておめでとうございます。年末年始は、いかがでしたでしょうか。風邪をひかずに無事、元気にお過ごしでしたでしょうか。羽田から海外旅行へ出かけた方もいらしたかも知れませんが、今年の方針は、「辛卯」で、「自らの言動を戒めて断固とした姿勢で物事を一新していく年」だそうです。衰運のようですが、向上の気配があるそうですので、何事も諦めず今年も前向きに行きましょう！ 荻島

★ご意見・ご感想をお待ちしています。(株)さがみはら産業創造センター(SIC) 〒252-0131 相模原市緑区西橋本 5-4-21
電話:042-770-9119 FAX:042-770-9077 ホームページ: <http://www.sic-sagamihara.jp> E-mail: koho@sic-sagamihara.jp